

専任教員教育研究業績

平成29年 4月12日

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
小 沼 肇	こぬまはじめ		学長	Ⓐ・女
担 当 科 目 名			学 内 委 員 会 等 (委員長)	
社会福祉概論				
学 歴				
和暦(西暦)年 月	事 項			学位
昭和 42(1967)年 3月	明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業			社会福祉学学士
教 育 歴 ・ 職 歴				
名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容		
新潟県立あけぼの学園	1967.04～1968.09	知的障害児施設(児童指導員)		
国立秩父学園	1968.10～1985.03	知的障害児施設(厚生教官)		
国立秩父学園附属保護指導職員養成所	1985.04～1989.03	職員養成・現任職員研修(教務主事) 担当科目:「レクリエーション」「ケース研究」		
国立秩父学園	1989.04～1995.03	知的障害児施設(指導主事)		
武蔵野短期大学	1995.04～2002.03	教授 担当科目:「養護原理」「児童福祉」「社会福祉Ⅱ」など		
静岡英和学院大学	2002.04～2010.03	教授 担当科目:「養護原理」「保育原理」「障害者福祉論」など		
小田原女子短期大学	2010.04～現在	学長 担当科目:「社会福祉概論」		
所 属 学 会 等				
名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)		
日本福祉文化学会	1990.04～現在	学会員		
日本保育学会	1995.06～現在	学会員		
日本社会福祉学会	1997.10～現在	学会員		
日本子ども家庭福祉学会	2000.10～現在	学会員		
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
静岡県社会福祉審議会	2009.06～現在	障害者福祉専門分科会分科会長		
静岡県障害者施策推進協議会	2009.06～現在	副委員長		
神奈川県保育所設備・運営基準に関する条例のあり方研究会	2011.10～2012.4	座長		
神奈川県児童福祉審議会	2012.08～現在	保育部会部会長(2015～)		
神奈川県子ども・子育て会議	2013.09～現在			
担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等				
名 称	取得年月	取 得 機 関		
中学校一級・高等学校二級普通免許「社会」	1967.03	東京都		
養護学校教諭一級普通免許	1967.03	東京都		
公認レクリエーションインストラクター	1980.03～2014	日本レクリエーション協会		
研 究 実 績 に 関 す る 事 項				
代表的な著書、論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1.『子どもと福祉文化』(実践・福	共 著 (編著)	2002年11月	明石書店	子どもが育つ本来の姿がみえてこない時代である。それどころか、子どもたちは社会変動の波に翻弄され

<p>祉文化シリーズ第2巻) .</p> <p>2.障害者職業カウンセラー(厚生省労働大臣指定講習テキストIV-6『職業リハビリテーション業務を支える技法理論 生活支援・家族支援』</p> <p>3.『保育者のための教育と福祉の事典』</p> <p>4.改訂1版 新保育士養成講座第5巻『社会的養護』</p> <p>5.『スタンダード心理学ー基礎から応用までー』</p> <p>6.『子どもの変化に気づくセンスの磨き方』</p>	<p>分 担</p> <p>分 担</p> <p>分 担</p> <p>分 担</p> <p>分 担 (編著)</p>	<p>2007年4月</p> <p>2012年5月</p> <p>2013年3月</p> <p>2014年5月</p> <p>2017年2月</p>	<p>独立法人 高齢・障害者雇用支援機構職業リハビリテーション部</p> <p>建帛社</p> <p>全国社会福祉協議会</p> <p>おうふう</p> <p>学事出版</p>	<p>ている。 そんな中であって全国各地で(1)家庭を支える実践、(2)子どもの育ちを支える実践、(3)子どもたちが自らの手で創る実践、(4)子どもたちの活動を支える実践、(5)SOSを発信する子どもたちを支える実践、(6)学校に代わる学びの場の実践など、子どもたちの福祉文化を創造する実践が行われている。</p> <p>障害者の生活を支える障害者職業カウンセラーのための教科書で、障害者の余暇活動の実際や活動の方法、さらに障害者の余暇活動を支える支援について解説。 本人担当部分:「第3章 生活の質(QOL)向上のための支援」を担当、</p> <p>保育者や保育者をめざす学生などのために編纂された用語事典。 本人担当部分:「№109 社会福祉のサービス評価と情報提供・実施体制」「№113 社会福祉従事者の現状と新しい資格制度」「№114 社会福祉従事者の専門性と倫理」「№122 社会福祉基礎構造改革」</p> <p>新保育士養成課程における「社会的養護」に使用するテキスト。特に「児童福祉法」や「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」の障害児関係施設に関する部分の枠組みの改正があり、この「社会的養護」についても改訂が必要となった。 本人担当部分:「第4章第4節 施設養護の実際/障害系施設」</p> <p>「初めて心理学を学ぶ」または「改めて心理学を学びなおそうとする人のためのテキスト。 本人分担当部分:「第12章 福祉心理学」「第1節 障害者(児)の心理学」</p> <p>副題が「ケースで学ぶ児童理解&指導の必須ポイント」となっていて、現場の小学校の先生方の研究会「未来の子どもを育む会」の先生方が、現場の事例をあげて対応を解説している。 本人分担当部分:「第3章 ケースで学ぶ 児童理解&指導の必須ポイント」の「19 障害がある子どもたちからのサインを感じるためために」「20 障害がある子どもたちとかかわるためために」「21 現代社会と子ども」</p>
--	---	--	--	---

<p>(学術論文)</p> <p>1.「地域の子育て支援拠点の拡充に向けた運営・活動等に関する調査研究—地域の子育て拠点の運営・活動マニュアルと解説(ガイドライン)」</p>	<p>共 著</p>	<p>2009年3月</p>	<p>児童関連サービス調査研究事業報告書(財団法人こども未来財団) 全国保育士養成協議会</p>	<p>地域の子育て支援拠点の全国の実施状況の実態把握のための現地調査、前年度に作成した地域の子育て支援拠点事業における①ひろば事業②相談事業③研修事業④情報提供事業のそれぞれ、併せて共通のマニュアル試案についての解説の作成をおこなった。 (主任研究者：金子恵美)</p>
<p>2.「平成20年度静岡県社会福祉系大学・短大・専門学校生に対する就労に関する調査」</p>	<p>共 著</p>	<p>2009年3月</p>	<p>静岡県社会福祉協議会(静岡県社会福祉人材センター)</p>	<p>社会福祉や保育の分野を目指して入学し、年度末に卒業をひかえている学生に対して、社会福祉や保育の現場に抱いている意識、就労する際の条件、就労を妨げる要因などについてアンケート調査を実施、分析をおこなった。 (代表者：小沼 肇)</p>
<p>3.「研究ノート 複雑化する保育ニーズと保育者の仕事と生活」</p>	<p>共 著</p>	<p>2013年3月</p>	<p>「福祉文化研究」Vol.23 日本福祉文化学会</p>	<p>保育者は、社会が変動する中で、子どもが示す「自分を見て」といった行動、さらには発達障害がある子どもの対応をするために、厳しい状況におかれている。また、保護者対応なども難しくなっている。そういった現状を把握するために、保育者を対象に調査を行い、分析をおこなった。 (代表者：月田みづえ)</p>
<p>4.「特集 福祉文化から展望する福祉政策」『新しい子ども・子育て施策についての期待と課題—新しい施策は子どもの健やかな育ちを保障することができるのか—』</p>	<p>単 著</p>	<p>2013年3月</p>	<p>「福祉文化研究」Vol.23 日本福祉文化学会</p>	<p>社会変動の中で、子どもが育つ環境が非常に悪化している。そういった状況を反映して、子どもたちが悲鳴をあげている。しかしその深刻さを大人たちや社会はあまり感じていない。 一方、社会保障と税の一体改革により、新たな子ども・子育て施策が、2015年度から始められることになっている。 本論では、特に新しい「幼保連携型認定こども園」に焦点を当てて、新しい制度が厳しい子どもの育ちの環境の改善や保護者の子育て環境を改善するものになり得るのか考察した。</p>
<p>5.「児童養護施設における養護技能調査研究事業報告書(その4)」</p>	<p>共 著</p>	<p>2014年8月</p>	<p>日本子ども養育研究会</p>	<p>児童養護施設「八楽児童寮」などが取り組んだボーイズタウンの養育方法の実践について、在籍している子どもたちや職員、スーパーバイザーの聞き取り調査などを行い、その必要性などの分析を行ったもので、その報告書。</p>
<p>6.「第3章 第4節 調査結果の4年間の経過からの考察」</p>	<p>単 著</p>	<p>2014年8月</p>	<p>『児童養護施設における養護技能調査研究事業総括報告書』日本子ども養育研究会</p>	<p>児童養護施設「八楽児童寮」などが取り組んだボーイズタウンの養育方法の実践について、在籍している子どもたちや職員、スーパーバイザーの聞き取り調査などを4年間にわたって実施、その総括報告書である。その中で、取り組んだ項目について、子どもが変化しやすいものと変化が困難なものについての分析を行った。</p>

(その他)				
1. 保育は“学際 的学問”の実践	単 著	2013年4月	全国社会福祉協議会	「保育の友4月号」『連載 保育ジャーナル第120回』
2. 保育士不足に は保育所の条件 整備を	単 著	2013年7月	全国社会福祉協議会	「保育の友7月号」『連載 保育ジャーナル第123回』
3. ヨーロッパで は“予防的支援” が主流	単 著	2013年10月	全国社会福祉協議会	「保育の友10月号」『連載 保育ジャーナル第126回』
4. “保育教諭” 確保の5年間の 経過措置が具体 化	単 著	2014年1月	全国社会福祉協議会	「保育の友1月号」『連載 保育ジャーナル第129回』
5. 認識が必要“研 修”の重要性	単 著	2013年4月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第61号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(57)』
6. やっぱり保育 園は“すごい”	単 著	2013年5月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第62号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(58)』
7. 教えなくても 子どもは“自ら 育つ”	単 著	2013年6月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第63号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(59)』
8. 授乳ケープ で“便利”と“本 質”を問う	単 著	2013年8月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第64号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(60)』
9. 多様化する日 常生活の過ごし 方	単 著	2013年9月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第65号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(61)』
10. 規制緩和や 競争がもたらし たもの	単 著	2013年10月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第66号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(62)』
11. “紙おむつ” が高性能になっ たために	単 著	2013年11月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第67号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(63)』
12. 難しくなっ た“保育観”な どの共有化	単 著	2013年12月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第68号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(64)』
13. “生活の力” を育てる保育園	単 著	2014年新年	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第69号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(65)』
14. 子どもの“怪 我と危険”	単 著	2014年3月	東京都民間保育園 協会	「とうきょう民保協」第70号『連載 新ドキドキ わくわく子育てシリーズ(66)』
15. “子どものよ りそう”が専門性	単 著	2014年4月	全国社会福祉協議会	「保育の友4月号」『連載 保育ジャーナル第132回』

16. “準保育士”案が浮上する背景	単 著	2014年7月	全国社会福祉協議会	「保育の友7月号」『連載 保育ジャーナル第135回』
17. 批准した“障害者権利条約”	単 著	2014年10月	全国社会福祉協議会	「保育の友10月号」『連載 保育ジャーナル第138回』
18. “質”を落とさずに“数”の確保を	単 著	2015年1月	全国社会福祉協議会	「保育の友1月号」『連載 保育ジャーナル第141回』
19. “おはよう”と“さようなら”は魔法のことば	単 著	2014年4月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第71号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(67)』
20. 社会で育てよう“大切な子どもたち”	単 著	2014年5月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第72号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(68)』
21. “リーダーシップ”を組織として	単 著	2014年6月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第73号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(69)』
22. 子どもがみえない新教育・保育要領	単 著	2014年8月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第74号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(70)』
23. “質の高い学校教育”は“幻想”	単 著	2014年9月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第75号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(71)』
24. “食べさせなくなる”は難しい問題	単 著	2014年10月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第76号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(72)』
25. 子どもの時間を奪う“スマートフォン”	単 著	2014年11月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第77号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(73)』
26. “道徳の教科化”で何ができるのか	単 著	2014年12月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第78号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(74)』
27. “プロ”に求められる3つの力	単 著	2015年新年	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第79号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(75)』
28. 厳しい現実“子どもの貧困”	単 著	2015年3月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第80号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(76)』
29. 社会的養護の視点からみえる“保育”の本質	単 著	2015年4月	全国社会福祉協議会	「保育の友4月号」『連載 保育ジャーナル第144回』
30. 喋らなくても言いたいことの理解を	単 著	2015年4月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第81号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(77)』

31. 脳にも影響か“愛されている実感”	単 著	2015年5月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第82号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(78)』
32. 子どもたちから生きる力を	単 著	2015年6月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第83号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(79)』
33. 小さな子どもが“死ね!!”	単 著	2015年7月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第84号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(80)』
34. 子どもには“生活力”の獲得を	単 著	2015年9月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第85号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(81)』
35. 子どもたちとの会話で“心”を届けよう	単 著	2015年10月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第86号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(82)』
36. 危ないことや喧嘩は大切な体験	単 著	2015年11月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第87号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(83)』
37. 枠を決めたのは人“変えられるもの”	単 著	2015年12月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第88号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(84)』
38. 子どもはお手伝いが大好き	単 著	2016年新年	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第89号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(85)』
39. 子どもの心の中は“いっぱい”	単 著	2016年3月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第90号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(86)』
40. 「特集レポート11 幼保連携型認定こども園の実際と問題点」	単 著	2014年7月	日本保育園保健協議会	『保育と保健第20巻第2号』
41. 「家庭的養護の推進の課題・総括論文 期待される地域の核としての機能」	単 著	2014年9月	全国児童養護施設協議会(全国社会福祉協議会)	『季刊 児童養護 Vol. 45 No.2』
42. 「3.障害がある子どもにはどのような保育が求められるか」	単 著	2015年11月	全国保育士会(全国社会福祉協議会)	「保育士会だより 2015. 11 NOV No.269」 「特集 障害児保育の実践から学ぶ」
43. 真の意味で人的環境の充実を	単 著	2016年4月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第91号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(87)』
44. 子どもと交わる“あたりまえ?”	単 著	2016年5月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第92号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(88)』
45. おとなの思いと異なる 子ども	単 著	2016年6月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第93号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(89)』

の“雨”				
46.必要とされている保育士ならではの専門性	単 著	2016年7月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第94号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(90)』
47.まだまだ未成熟な意識の構築	単 著	2016年9月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第95号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(91)』
48.“身構えないで!”僕も私も子どもだよ	単 著	2016年10月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第96号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(92)』
49.子どもの心が伝わらない子育て事情	単 著	2016年11月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第97号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(93)』
50.お母さんたちは“いっぱいいっぱい”	単 著	2016年12月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第98号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(94)』
51.認定こども園のその後	単 著	2017年新年	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第99号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(95)』
52.いつもなぜかと考えよう!!	単 著	2017年3月	東京都民間保育園協会	「とうきょう民保協」第100号『連載 新ドキドキわくわく子育てシリーズ(96)』
その他 (表彰等)		1980年6月	第4回ほほえみ賞 (授与団体の嬉泉より応募した実践論文がほほえみ賞に該当すると認められたため)	